

議会審議をピックアップ!

こんなことが決まりました



3月11日から開会した、「平成25年第1回熊野町議会定例会」に、町長から議案が23件提出された。慎重な審議を行い、全て原案どおり可決した(平成25年度予算の詳細は次ページ)。また議員からも議案が1件提出され、原案どおり可決した。

条例

■職員の分限に関する手続及び効果に関する条例(一部改正)

職員が地方公務員法に定める欠格条項に該当する場合において、一定の要件を満たす場合に限り、失職しないことができる旨の規定を定めるもの。

■職員の給与に関する条例(一部改正)

人事院勧告に基づくもので、平成18年度の給与構造改革による給料表水準の引き下げの影響を考慮し、現在まで

林産業を取り巻く環境の変化に即したものとするため改正を行うもの。

同意

■人権擁護委員 片川 光氏
■人権擁護委員 東 都茂江氏

町道関係

■町道の路線認定

町道鶴ヶ沢2号線外20本の道路を町道として路線認定を行うもの。

■町道の路線変更

既存の町道2路線について、終点の変更を道路法の規定に基づき行うもの。

実施している給料の経過措置について、平成25年4月から段階的に廃止するもの。

■熊野町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例(一部改正)

「障害者自立支援法」の名称が、平成25年4月から「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に変更となることに伴い、条例中の法律名を改正するもの。

■熊野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例(新設)

熊野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例(新設)

平成23年度の「地域主権改革一括法」公布により、これまで介護保険法に基づき厚生労働省令で定められていた各種指定基準等について、地方自治体の

予算

■平成25年度予算(一般・特別会計)
次ページに詳細。

■平成24年度一般会計補正予算

緊急経済対策として、国の補正予算で追加交付される補助金等を活用して小・中学校の耐震補強工事を含む、総額4億1千488万8千円を繰越明許費として計上するものや、各種事業の執行残の整理などにより、全体で1億2千254万7千円を増額するもの。

■平成24年度特別会計(国民健康保険事業・公共下水道事業・後期高齢者医療・介護保険)・上水道事業会計補正予算

実情に応じて条例で定めることとなったもの。

前条例については、要介護認定者が利用する指定地域密着型サービスに関する基準を、後条例については、要支援認定者が利用する指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を制定するもの。

■熊野町新型インフルエンザ等対策本部条例(新設)

「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が平成24年5月に公布され、この法に基づく緊急事態宣言がされたときは、各自治体において対策本部の設置が義務づけられたことから、これに必要な事項を定めるもの。

■熊野町工事分担金条例(一部改正)

県費補助事業について新たに高率補助が設定されたことや、農林道等における取り扱いの見直しを行うなど、農

発議

■ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書案について

B型肝炎・C型肝炎ウイルス感染者及び患者を支援するため、次の事項について速やかに必要な措置を講じるよう国へ要望するもの。
・偏見や差別を解消するための施策を講じること。
・医療費の一部助成制度の拡充を図ること。
・新たな治療法や対象医療の拡大をすること。
・診療・検査体制の整備を進めるとともに、治療薬の研究開発等を推進すること。

安倍晋三内閣総理大臣に熊野の筆を寄贈



2月25日、三村町長とともに馬上議長が首相官邸を訪問した。

官邸では、中川衆議院議員にも同行していただき、安倍晋三内閣総理大臣に対して全閣僚の閣議署名用の筆と、女性閣僚の方への化粧筆を寄贈した。



また、首相官邸訪問の後は外務省を訪ね、岸田外務大臣と面会した。

